アクワイア(ACQUIRE)：ポートフォリオ フローチャート

ゲーム準備

- アクワイアを箱から出す。初期資金：$6,000の用意 株券公開ルール クラシックモードorタイクーンモードを決める。
- プレイ人数 2人～6人 4人～5人がおすすめ。
- ポートフォリオカードをシャッフルし、プレイ人数＋1枚をボード横に場として並べる。山札もその横に置いておく。
- 初期資金 $6,000の用意 手持ち資金の公開は任意
- ①ルール プレイヤーの保有株券は公開して行う。
- ②ルール クラシック、タイクーンどちらでも可。
- ③ルール 2人で行う場合は2人用ルールも採用する。

順番決め

- 各プレイヤーは建物コマを引き、1Aに近いプレイヤーが1番手 建物コマを6枚引いて、ゲーム開始
- ①スタートプレイヤーについて 建物コマを1枚引いて 1Aに近いプレイヤー（引いた建物コマはボード上に）
- ②スタートプレイヤーについて 1Aに近いプレイヤーとは？ 例：B2,B5,C1ならB2が1番となる。実は1Aから縦横を数えない。
- ③スタートプレイヤーについて ただし、遊ぶメンバー間で納得していればこの限りではない。 些細なことである。
- ④スタートプレイヤーについて 注意すべきはゲーム開始時に建物コマがボード上に無いとスタートプレイヤーが困る。

ゲーム中

自分の手番？
- NO → **終了条件** ボード上の全ホテルが独立 or 1つのホテルが41枚以上
  - NO（自分の番まで待つ）
  - YES（他プレイヤーが選択）
- YES → **ポートフォリオ** 手持ち株券で条件を満たすカードはあるか？
  - NO → **終了条件** ボード上の全ホテルが独立 or 1つのホテルが41枚以上
    - NO
    - YES（選択可能）
  - YES → **ポートフォリオカードと記載されたボーナスを獲得する。山札から場に補充する。**
  - **終了条件** ボード上の全ホテルが独立 or 1つのホテルが41枚以上
    - NO
    - YES（選択可能）

手持ちの建物コマからボード上に対応した場所に1枚置く

※1 非常に稀だが、株券が無い場合は建設時のホテル価格と同じ紙幣を受け取る。

新規ホテルが発生？
- NO → **吸収合併が発生？**
- YES → **選んだ新規ホテルの株券1枚獲得する。※1**

吸収合併が発生？
- NO → **ボード上にあるホテルの株を株価に応じて3枚まで購入する。（購入しなくても良い）**
- YES → **吸収されるホテルの決定（置いた建物コマを除いた大きさ）** → **吸収されるホテルの株券保有数の順位を2位まで決める。（タイクーンは3位まで）** → **相場表をもとにホテルの配当金を貰う。** → **吸収合併をしたプレイヤーから順番に株券の処理を行う。※2（①売却②2:1交換③保持）** → **ボード上にあるホテルの株を株価に応じて3枚まで購入する。（購入しなくても良い）**

タイルを1枚引いて手番を終了する。※3

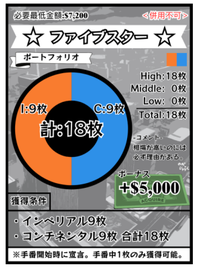
※3 独立ホテル（建物コマ11枚以上で構成）の間で置けないタイルがある場合はここで公開する。公開した枚数分追加で建物コマを引くことができる。

※2 ポートフォリオカードは自手番の始めでのみ獲得。つまりは株券処理の2:1交換によって、他プレイヤーにカードを奪われる可能性があるので注意。

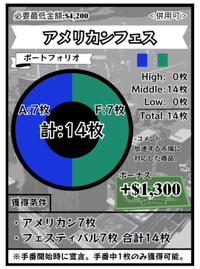
ポートフォリオに関するルール

＜併用不可＞獲得したら、他のカードは取得不可。
＜併用可＞は＜併用可＞同士のみで有効

＜併用不可＞



＜併用可＞



場

背面

山札

組合せの例

獲得順：左から順に1つ目→2つ目→3つ目…

→	＜併用可＞	＜併用可＞		OK
→	＜併用可＞	＜併用不可＞		NG
→	＜併用不可＞			OK
→	＜併用可＞	＜併用可＞	＜併用可＞ …	OK

小話：＜併用不可＞には☆が名前の両端に付く。「アイム・ザ・ボス」も◆(◆)が微妙に違う。

ゲーム終了

- ボード上に無いホテルの株券は無価値となる。株券を銀行に返す。
- → **配当金処理** ボード上の全ホテルを１つずつ行う。
- → **株券売却** ホテルの株価に応じて売却益を貰う。
- → **手持ちの資金を合計する。最も多いプレイヤーの勝利！**

- 備考 -
この色で表示されている文章はポートフォリオルール限定